

地域の移動支援事業所の今...



移動支援事業とは、障がいにより一人での移動が難しい人に対して、スムーズに外出することができるようにヘルパーが支援をするサービスです。

障がいのある方が、地域で生活をする上で必要不可欠な外出への支援(冠婚葬祭や投票等)や社会参加のための外出支援(買い物やイベント参加等の余暇活動)を行います。

今回は、宮前区内の4か所の移動支援事業所にご協力を頂き、アンケートで調査しまとめました。

ご協力して頂いた、 移動支援事業所

- ヘルパーステーション海(平) 電話：044-976-1841
- ニチイケアセンター宮前平(宮崎) 電話：044-856-9600
- みやまえ訪問介護支援事業所(宮崎) 電話：044-856-5827
- ふるやまケアサービス(神木本町) 電話：044-877-7006

新型コロナウイルス感染拡大を受けて、 事業をする上で、変化はありましたか？

- ・移動支援については、不要不急という理由から活動が中止になることが多くありました。(みやまえ・ニチイ・ふるやま)
- ・ヘルパーは仕事が減りました。(みやまえ)
- ・家族の都合で、ヘルパーの退職もありました。(ニチイ)
- ・外出の際は、近場を選ばれる方が多くなりました。又、自宅内サービス(入浴、家事援助等)が増えました。(ふるやま)
※居宅介護も行っている事業所です。
- ・コロナ感染拡大を機に、カラオケや映画館に行くことが減りました。(海)

新型コロナウイルス感染拡大防止のために 行っていること ～事業所にて～

- ・マスク着用、咳エチケット、換気、消毒、検温、手洗いうがい等の徹底を行っています。(全事業所)
- ・活動時、エプロン・手袋を着用して感染拡大の防止に努めています。(みやまえ)
- ・緊急事態宣言中は、公共交通機関は利用しませんでした。解除後は利用を可能にしています。(海)
- ・東京方面には行かないようにヘルパー、ご利用者様をお願いをしています。(海)
- ・会議や研修会は、3密を回避して行っています。(みやまえ)



新型コロナウイルス感染拡大防止のために 行っていること ～ご利用者様に対して～

- ・毎日の検温と体調確認、マスクの着用をご利用者様にお願いしています。(全事業所)
- ・混雑している場所は避けて外出したり、混雑する乗り物は利用しません。活動中は、手洗いうがい消毒をこまめにしています。(ふるやま)
- ・利用者宅での活動の場合、ヘルパーの荷物は必要最低限とし、本人と向かいあうことは避ける工夫をしています。(みやまえ)

地域の皆さまへのメッセージ

- ・コロナの感染が拡大して不安な毎日です。訪問介護の事業所として、「飛沫感染をしない努力」「感染者とならない努力」を徹底しております。地域の皆様も今まで以上に体調管理に注意が必要になります。又、猛暑が続いておりますので、熱中症にもお気を付けください。一日も早くコロナが落ち着きますように。(ニチイ)
- ・自宅内での支援、外出支援(介護タクシー併設)どちらも安心してご利用いただけるよう地域密着で営業しています。今までと変わらない、今までより良い生活を送ることができるようお手伝い致します。(ふるやま)
- ・外出の自粛で運動不足にもなりやすく、人に会うことが難しいため、ストレスにもご注意ください。(みやまえ)

※ () 内は名称を略させていただきました。



季刊

きまっしー

Vol. 19



<https://www.facebook.com/kimassi.kimassi/>

発行日：2020年9月1日
 発行元：社会福祉法人みのり会
 生活支援センターきまっしー
 連絡先：宮前区馬絹6丁目10番33号
 まじわー宮前2階
 TEL 044(855)1011
 FAX 044(855)1022
 kimassi@tobe-kobato.or.jp

新型コロナウイルスの感染者が増加し、感染拡大前の日常のありがたみを感じます。マスク着用のため、息苦しい日々が続いておりますが、熱中症にも十分気をつけて、体調を整え、元気にこの暑さを乗り越えましょう。

今号も、新型コロナウイルスの感染拡大のなか、「Withコロナ」の生活を頑張っている地域の福祉施設の「今」について、皆様にお伝えしていきます。

地域の児童福祉施設の今...

【川崎愛児園・ まぎぬ児童家庭支援センター】に インタビューをさせていただきました。



緊急事態宣言中、川崎愛児園では、来客を制限し電話でのやりとりを増やしたり、職員も体調のチェックを行い感染予防に努めました。まぎぬ児童家庭支援センターも施設を共有しているため、電話相談で対応しました。

子どもたちについては、感染拡大防止のことを子どもたち皆で話し合いの上、外出を控えることとしました。子どもたちは、登校や外出ができなくなり、室内や園庭で過ごすことがほとんどで、大変な我慢をする生活が続きましたが、社会情勢を理解し、職員が心配したよりも皆で協力し、互いに配慮をして過ごしてくれました。保護者との交流もやむを得ず一旦停止させていただき、定期的に保護者との交流をしていたお子さんは面会ができずに寂しい思いをしていたと思います。

緊急事態宣言解除後は、来所相談やショートステイ等の預かり事業、親子交流等を再開しています。相談事業では、家族間の距離が近い状態が続き心理的に疲れたとの相談が増えました。長期間の休校処置から不登校の相談も若干増えたと感じています。

今後も、検温や消毒、3密回避等感染予防対策を気を緩めずに徹底していくことが大切だと考えています。そして、地域との繋がりを感じていた「ふれあいカフェ桃花」の開催が停止となったことは非常に残念です。どのような形なら実施できるのか、または地域の繋がりが失われないための新たな企画などを考えていきたいです。



川崎愛児園では、地域での取り組みとして、子どもたちの放課後の居場所として、「あいあい(当施設、毎週木曜夕方)」、「すえっ子広場(高津区久末、毎週火木曜夕方)」を開催しています。保護者の方が仕事で帰宅が遅く、一人で留守番をするようなお子さんにぜひ利用していただきたいです。

まぎぬ児童家庭支援センターでは、オンライン会議システムを利用して、地域の子育て家庭向けに「親子カフェ」をしています。今後は感染予防対策をした上で対面でも開催する予定です。当センターのHPで開催案内をしますので是非ご覧ください。

現在、コロナの影響で経済的に困り、食料の支援を必要とする家庭に食材を提供する取り組みが行われています。川崎市社協を中心に市内の加盟福祉法人が参加し、当法人もこの活動に参加しています。お困りの際は、各区社会福祉協議会や当センターにお問い合わせください。





地域の障がい関係事業所の今… 「コロナに負けず!!頑張っています!!」

宮前区内の障がい関係事業所にインタビューをしてお互いの情報交換をしました。

- ①新型コロナウイルス感染拡大をうけて施設で変わったことはありますか?
 - ②おすすめの自主製品を教えてください。
 - ③どうやったら購入できますか?
 - ④施設の方からコメント
 - ⑤きまっしーから一言
- の流れで進行していきます!!

●みずさわ

(障がい者支援施設、短期入所、生活介護、相談支援事業所：
社会福祉法人三篠会)

※今回は、入所系事業を中心にインタビューをしました。

- ①ご利用者様、職員共に検温・消毒の徹底をしています。通院以外の外出・外泊は控えています。ご利用者様が外出をする際は、公用車で送迎し、その都度車内も消毒をしています。短期入所では、入所時発熱が見られた場合は、利用を控えています。入所施設では、以前は居室での面会ができましたが、新型コロナウイルス感染流行以降は、1階ロビーにて短時間での面会をお願いしています。又、衣類等の生活用品は玄関で預かることにしました。



- ②現在は、自主製品は製作していません。

- ④先日、「ゆ〜ず連絡会」に出席をし、当施設の現状報告をしました。今年は、みずさわ主催のおまつりを縮小し、内部での開催といたしました。毎年楽しみにしているご利用者様もあり、当施設では感染対策をしっかりとした上で、おまつりの計画をしています。新型コロナウイルスの感染拡大により、生活に制限がかかっていますが、ご利用者様の楽しみをなくしたくないとの思いで毎日頑張っています。



- ⑤「ゆ〜ず連絡会」の夏祭りはとても規模が大きく、きまっしーも毎年遊びに行っていたため中止は残念ですが、また来年行けることを楽しみにしています!!

※「ゆ〜ず連絡会」は、季刊きまっしーVol.14で紹介しています。

●宮前フレンズ

(地域活動支援センター：社会福祉法人アピエ)

- ①安全を考慮して4月中旬からご利用者様の人数制限を行いました。4、5月はコロナの報道で外出をすることに不安を感じ、利用を自主的に控える方もいらっしゃいました。6月以降は、徐々にご利用者様が増えてきました。マスク着用、検温、手洗いを徹底しパーティションを活用したり等感染拡大防止に努めています。8月中旬に、暑気払いとして、事業所内でイベントを予定しています。デリバリーをとっての食事会とゲームを企画しています(8月6日取材)。



- ②スタンドグラスの画鋲・マグネットがオススメです。「川崎市の障害者地域施設 手作り製品カタログ」に出品しているのでこちらもご覧ください。

- ③現在は、内職作業(スイッチ類の組み立て、チラシの折り込み)を中心に行っているため、自主製品の販売を中止しています。

- ④ご利用者様に選択肢があることが大切だと思い、緊急事態宣言下でも事業所を閉めず、感染拡大防止策を徹底してサービスを提供し続けることができたことが良かったです。大きな変化もなく、ご利用者様も通所できるようになってきたので安心しました。

- ⑤宮前フレンズさんの画鋲やマグネットは、細かい作業で一点ものでとてもきれいです。販売再開が待ち遠しいです。



●川崎市れいんぼう川崎(施設入所支援・生活介護、短期入所、 自立訓練：社会福祉法人川崎市社会福祉事業団)



- ①緊急事態宣言時、ご利用者様の外出は控えていただきました。面会は、家族を中心に15分程度と制限をさせていただきました。緊急事態宣言解除後は、通常通りの運営をしていますが、短期入所の受け入れは制限をしています。当施設では、新型コロナウイルス感染防止対策として、「ゾーニング」を実施しています。施設内をグリーンゾーンと汚染ゾーンに分け、万が一、感染者が発生した場合に迅速に隔離等対応をとれるようにしています。感染してしまった方もそうでない方も安心して過ごすことができるように準備をしています。マスクの着用、消毒、換気を徹底しています。又、ご利用者様の介助の際は、ガウン、フェイスシールド、メガネを用意して感染対策を行っています。

- ②自主製品は製作していません。

- ④この夏は、施設内で花火や縁日を企画しています。自立訓練、補装具外来は通常通り行っています。ご用命があれば、引き続きお願いします。

- ⑤インタビューをさせていただき、感染対策を非常に細かく実施していることが分かりました。安心して生活できることが大切だと思いました。



●ACE16川崎菅生

(就労継続支援B型：合同会社TKプロジェクト)

- ①4月中旬～6月末までは、ご利用者様の枠を定め、公用車で送迎をし、半日の利用としていただきました。密を避けるために、食事は自宅できり、検温・マスク着用・消毒を徹底して作業を実施しました。7月以降は、通常運営に戻りましたが、神奈川県内でも徐々に感染者数が増えてきたこともあり、8月中旬以降再度半日で作業をしていただいています。緊急事態宣言下でも事業所を休止しないで良かったという声が多くありました。又、もっと働きたい・もっと人数を減らしてほしい等、様々な意見があり、工夫をしています。



- ②「犬の洋服ハンガー(木工)」、「毛糸デコレーションハンガー(針金)」がオススメです。

- ③メルカリで販売をしています。メルカリHP内で【木製ペット用ミニハンガー】で検索してください(出品者：TKP)

- ④ACE16をステップアップの場として考えているご利用者様が多く、将来就労継続支援A型への就労を目指して訓練をしている方や、生活サイクルを整えるためにご利用をされている方もいらっしゃいます。コロナ禍で制限を受けながらも、ご利用者様・職員共に頑張っています。

- ⑤ACE16さんのハンガーはデザイン性が高く、お部屋のインテリアとしておしゃれに活用できます。インターネットで製品を販売することは、新しい発想だと思います。



おうち時間deワークショップ【ペットボトル風鈴】

現在きまっしーでは、新型コロナウイルス感染予防のため、人気企画のワークショップが開催できません。そこで、自宅で簡単にできるモノづくりを紹介しようと考えました。おうち時間に作って季節を感じてください♪今回は、残暑が厳しい中、少しでも気持ちが涼やかになるように、ペットボトル風鈴を作ってみました。



- | | |
|--------------|---------|
| 【材料】 | 【必要な道具】 |
| ・ペットボトル | ・はさみ |
| ・折り紙 | ・カッター |
| ・ひも(50cm位) | ・きり |
| ・鈴(直径1cm位) | ・穴あけパンチ |
| ・マスキングテープ | ・マーカー |
| ・シール | |
| ・厚紙(1cm×3cm) | |

全て100円ショップで必要なものをそろえることができます!!

- ①ペットボトルを上から8cmのところのカッターで切る(気をつけて切って下さい)
- ②切った部分にマスキングテープを貼る。
- ③折り紙を幅8cmで切り、短冊をつくる。上の部分を穴あけパンチで穴をあける。
- ④ペットボトル・キャップ・短冊に好きなシールを貼ったり、マーカーで絵を描いたりデコレーションをする。
- ⑤キャップの真ん中にきりで穴をあける(気をつけて穴をあけて下さい)
- ⑥短冊、鈴、厚紙をひもでつなぐ。
- ⑦ペットボトルとキャップにひもを通して、キャップからでたひもを結び完成!!

